

プログラム

第1日 2015年10月10日 (土)

10:30-10:35 開会の辞

国府浩子 (日本遺伝看護学会第14回学術大会 大会長)

10:35-10:45 理事長挨拶

中込さと子 (日本遺伝看護学会 理事長)

10:45-11:45 教育講演1

これからの臨床看護実践における遺伝看護の重要性

座長: 国府浩子 (熊本大学大学院生命科学研究部)

講師: 中込さと子 (理事長 山梨大学大学院総合研究部 教授)

11:45-13:00 昼食

13:00-14:00 一般演題 (口演) 第I群 遺伝看護実践 (周産・小児)

座長: 村上京子 (山口大学大学院医学系研究科)

O-1 無侵襲的出生前遺伝学的検査(Noninvasive prenatal genetic testing)を受け中期中絶を選択した夫婦の意思決定プロセス

阿部明子 (広島大学病院看護部 看護部)

O-2 家族の意思決定を支えるもの -13トリソミー患児の看護を通して-

村枝奈美 (熊本大学医学部附属病院看護部)

O-3 稀少な染色体構造異常症のある児の母親における育児のプロセス -第1報-

沓脱小枝子 (山口大学大学院医学系研究科)

O-4 ダウン症児・者の家族が医療に期待するもの

森藤香奈子 (長崎大学大学院医歯薬総合研究科)

14 : 00 – 15 : 00 一般演題 (口演) 第Ⅱ群 遺伝看護実践 (成人・難病)

座長 : 佐々木規子 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科)

- O-5 22q11.2 欠失症候群に関する文献レビュー
-22q11.2 欠失症候群をもつ人々のための長期的なマネジメントの示唆-
北村千章 (新潟県立看護大学)
- O-6 成人期の Prader-Willi 症候群の人の基本的ニーズに関する 2 事例の報告
松土良子 (独立行政法人国立病院機構甲府病院)
- O-7 もやもや病が診断されたクライアントと家族に対する遺伝看護職の介入
佐藤裕子 (東京女子医科大学病院)
- O-8 生活習慣病予防における遺伝看護の役割
西垣昌和 (京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻)

15 : 00 – 15 : 10 休憩

15 : 10 – 16 : 30 パネルディスカッション

周産期・小児領域における遺伝看護実践

– 熊本大学医学部附属病院の活動報告 –

座長 : 小笹由香 (東京医科歯科大学医学部附属病院)

本尚美 (熊本大学医学部附属病院)

遺伝看護に目を向けてみませんか？

坂井美和 (前 NICU 遺伝カウンセリングチーム看護師)

遺伝学的診断を受けた子どもとの関わり

森京子 (地域医療連携センター 相談員)

周産期領域の遺伝医療と看護職への期待

大場隆 (大学院生命科学研究部 産科婦人科学 准教授
臨床遺伝専門医)

16 : 40 – 17 : 40 特別講演

遺伝医療と生命倫理

座長 : 安藤広子 (日本赤十字秋田看護大学)

講師 : 高橋隆雄 (熊本大学 名誉教授)

熊本大学大学院先端機構 客員教授)

第2日 2015年10月11日（日）

9：30－10：00 総会

10：00－10：10 休憩

10：10－11：10 一般演題（口演） 第Ⅲ群 遺伝看護実践（家族性腫瘍）

座長：武田祐子（慶應義塾大学看護医療学部）

O-9 RET 遺伝学的検査を受ける患者に対する看護支援の検討

木村渚（医療法人野口記念会 野口病院）

O-10 A がん専門病院における
遺伝カウンセリングを受ける乳がん患者の特徴と傾向

新貝夫弥子（愛知県がんセンター中央病院 看護部）

O-11 大阪府がん診療拠点病院としての遺伝性腫瘍の取り組み

－乳がん看護認定看護師の立場から－

田中敦子（北野病院 看護部）

O-12 九州のがん専門病院の遺伝相談外来における問題点と対策

松谷奈央（国立病院機構 九州がんセンター）

11：10－11：55 一般演題（口演） 第Ⅳ群（遺伝教育・体制）

座長：野間口千香穂（宮崎大学医学部看護学科）

O-13 遺伝教育プログラムの実践報告

－小学校親子レクリエーションでの開催－

佐々木規子（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科）

O-14 リプロダクションに関する相談業務従事者意思決定支援研修報告

－出生前検査の事例を用いたロールプレイを中心に－

羽賀充実（日本私立学校振興・共済事業団 東京臨海病院
聖路加国際大学大学院）

O-15 難聴遺伝子検査に伴う遺伝子診療科の遺伝カウンセリング体制と課題

溝口満子（東海大学医学部附属病院遺伝子診療科）

11 : 55 – 12 : 20 休憩

12 : 20 – 13 : 20 ランチョンセミナー

トランスサイレチン型家族性アミロイドポリニューロパチーの医療最前線

座長：終中智恵子（熊本大学大学院生命科学研究部）

講師：山下太郎（熊本大学医学部附属病院神経内科
アミロイドーシス診療体制構築事業 特任教授）

13 : 30 – 15 : 10 シンポジウム

がん・神経難病領域における遺伝看護の実践と課題

座長：青木美紀子（聖路加国際大学看護学部）

武田祐子（慶應義塾大学看護医療学部）

遺伝相談外来における

遺伝性乳がん卵巣がん症候群の患者への関わりと課題

西光代（相良病院遺伝相談外来）

大学病院における遺伝性腫瘍の遺伝カウンセリングと遺伝看護

佐田野英（広島大学病院遺伝子診療部）

遺伝看護実践における病棟看護師の強みと課題

－神経・筋疾患領域において－

須坂洋子（東京都立神経病院看護科）

がん・神経難病領域における遺伝看護の実践の課題

－難病医療専門員（難病コーディネーター）の立場から－

野正佳余（大阪難病医療情報センター）

15 : 10 – 15 : 30 一般演題（示説）フリーディスカッション

P-1 自然死産を体験した女性への看護実践の現状と課題

荒木奈緒（北海道大学大学院保健科学研究院）

P-2 Prader-Willi 症候群をもつ成人の基本的ニードの充足度に関する記述研究

中込さと子（山梨大学大学院総合研究部）

P-3 病状進行に伴う神経難病患者・家族の意思決定支援の現状と課題

大群由貴子（国立病院機構 熊本再春荘病院）

P-4 先天性ミオパチー患者の自立生活への支援

戸高佳代（国立病院機構 熊本再春荘病院）

- P-5 デルシアン型筋ジストロフィー症患者の気管切開孔拡大によるエアークに対する不安の軽減と QOL 向上についての取り組み
大當美子（国立病院機構 熊本再春荘病院）
- P-6 家族性腫瘍患者に寄り添った看護を考える
－MEN1 家系との関わりを通して－
河野沙織（医療法人 野口病院）
- P-7 成人期の娘をもつ初期治療過程に在る乳がん患者の心理的状況
－乳がんと遺伝に関する発言に注目して－
若崎淳子（島根県立大学）
- P-8 遺伝性乳がん・卵巣がん症候群の遺伝学的検査にまつわる意思決定に関する文献レビュー
小濱京子（熊本大学大学院生命科学研究部）
- P-9 看護師養成におけるヒト遺伝学教育の必要性
神崎秀嗣（大和大学保健医療学部/京都大学）
- P-10 ヒト遺伝学教育に伴う生命倫理教育の妥当性
神崎秀嗣（大和大学保健医療学部/京都大学）
- P-11 A 大学医学部附属病院遺伝カウンセリングチーム活動の現状と課題
中村祥子（熊本大学医学部附属病院遺伝カウンセリングチーム）

15 : 30 – 16 : 10 教育講演 2

遺伝看護の専門性

座長：溝口満子（東海大学医学部附属病院遺伝子診療科）

講師：有森直子（遺伝看護専門職検討委員会委員長
新潟大学大学院保健学研究科 教授）

16 : 10 – 16 : 15 閉会の辞

国府浩子（日本遺伝看護学会第14回学術大会 大会長）